

10月1日に、埼玉県和光市にある理化学研究所（午前）と科学技術館（午後）に見学に行きました。

理化学研究所では、まず脳科学研究センターの言語発達研究室を見学しました。普段は乳児や幼児に対して行う実験（目の動きを赤外線で感知し、見ているところや動き方がわかる実験、脳波を測定する実験等）を実際に体験することもでき、生徒たちは脳科学を身近に感じた、今後その基礎研究が自分たちの生活にどう生きていくか楽しみだと感想を述べていました。

次に、仁科加速器センターにてRI ビームファクトリーという大型加速器の見学を行いました。間近で見れたことで、予想以上の大きさに圧倒されました。加速器の原理はなかなか難しいものがありましたが、この加速器で様々な基礎研究がなされているということに生徒は感銘を多く受けていました。特に113番目の原子の発見に関して、多くの生徒が興味を抱いた様子でした。さらに、案内してくださった研究員の方には、質問しようと生徒が並ぶ風景も見られました。

午後は、体験的な展示物が多くおかれている科学技術館を訪問し、科学に触れました。

